

シェアサイクル事業の進捗報告について

1 「茅ヶ崎市におけるシェアサイクル推進に係る基本的な考え方」の策定

(詳細は、プラン参照)

これまで以上に関係者が力をあわせて、自転車を軸に魅力的な資源・事業等をつなぎあわせることで相乗効果を図り、効率的かつ効果的に事業を推進するため、平成28年3月に策定しました。このプランでは、過去の社会実験結果や協議会の提案をうけ、今後の取り組みの方向性と具体的な事業内容についてまとめています。

(1) 策定の背景① 過去の社会実験結果

| レンタサイクル社会実験 (平成16年11月 ～平成17年9月) | パーク&サイクル社会実験 (平成21年8月) | コミュニティサイクル社会実験 (平成21年12～23年2月、 平成22年12月～23年2月) |
|---|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ■ 観光や買い物目的が多い ■ 利用者の満足度や今後の利用意向も高い ■ 駅から近いポートほど利用される ■ 仕事・観光・買い物等多岐にわたっている | <ul style="list-style-type: none"> ■ 買い物等の利用目的が多い ■ 利用者の満足度や今後の利用意向も高い ■ 海岸近くの駐車場における需要が確認 ■ 利用者の行先の大半を占めたのはビーチ、次いでコンビニ、駅方面 | <ul style="list-style-type: none"> ■ 観光・レジャー、買物・飲食目的が多い ■ 冬季の実施で、利用者数自体が少なかった ■ 利用者の満足度や利用意向は高い ■ 駅周辺ポートでの貸出が多く、茅ヶ崎駅から離れたポートではほとんど貸出がなかった ■ 駅周辺にポートが集中していたこともあり、乗り捨ての効果があまりなかった ■ 自転車の借り方が面倒（免許証コピーの手間など）という意見が多かった |



総括

- ① 利用者の多くは観光や買い物目的の来街者
- ② 駅近くのわかりやすい場所、観光客等の往来が多い場所のポートは多く利用される
- ③ シェアサイクルに関する情報の事前提供
- ④ 貸出し方法の簡素化など、観光客等が利用しやすいサービスの提供が求められている
- ⑤ 事業化の必要性

(2) 策定の背景② シェアサイクル専門部会における研究

過去の社会実験結果をふまえ、平成27年度、第2次ちがさき自転車プラン推進委員会の下部組織としてシェアサイクル専門部会を設置し、有識者からも意見をいただきながら、本市であらたに展開していくシェアサイクルの理想の姿について研究を行い、「茅ヶ崎らしいシェアサイクル実現のための研究報告書」として、協議会の意見がまとめられました。

ここでは、次の4点を目的に事業を展開することが述べられています。

- 自転車を、暮らしを楽しむためのツールとすること
- 茅ヶ崎の資源を活用して特別な時間を提供すること
- シェアサイクルによって、来街者の回遊性を高めて地域経済の活性化を図ること
- 関係者が連携し、まち全体で相乗効果を図るしくみをつくること

さまざまな提案をうけ、本市は「茅ヶ崎市におけるシェアサイクル推進に係る基本的な考え方」の策定に至りました。

2 「茅ヶ崎レンタサイクル」の運営状況

(1) 概要

【ポ ー ト】 湘南ステーションビル(株)ラスカ茅ヶ崎の南側自転車駐車場内事業用地

【貸出台数】 5台

【貸出時間】 4～9月 9～18時、 10～3月 10～18時

【料 金】 1日1回500円 ※その他デポジット料金有

(2) アンケート調査に基づく利用実態について (摘要)

a) 休日 > 平日

b) 20代 > 30代 > 40代 > 50代 > 10代 > ……

c) 女性 > 男性

d) 観光 > 仕事

・84%が観光目的の方

e) 来訪者の出身地 東京以外の県外 > 都内 > 横浜・川崎 > ……

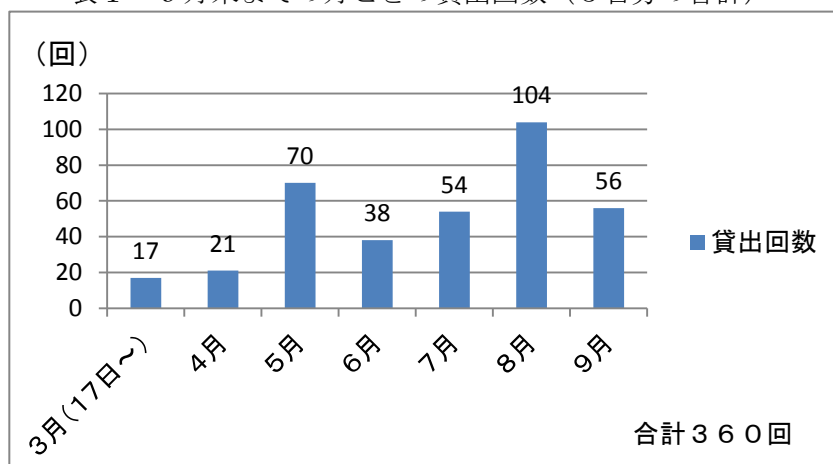
・東京以外の県外及び都内からの来訪者が半数以上となっており、遠方からの観光客の利用が非常に多い一方で、5%の市内利用者がいる

f) 茅ヶ崎への来訪頻度 4割以上が「はじめて」

g) 目的地は、半数が海と回答しており、注目は「江の島」が13%。また、鎌倉まで行く観光客も散見される。

h) レンタサイクル利用者の満足度が非常に高い。「とても良い」「良い」が94%で、次いで「普通」、「不明」。「悪い」との回答は0となっている。

表1 9月末までの月ごとの貸出回数 (5台分の合計)



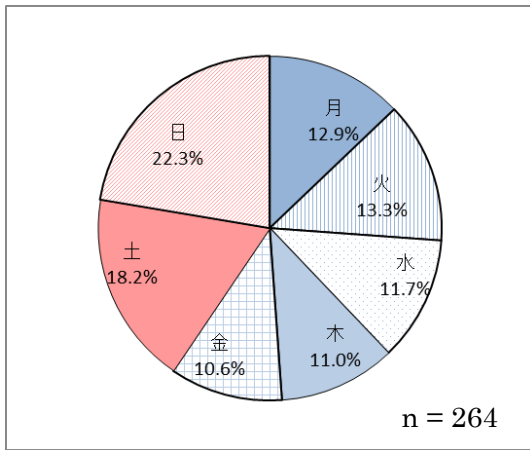


図1 曜日別利用割合

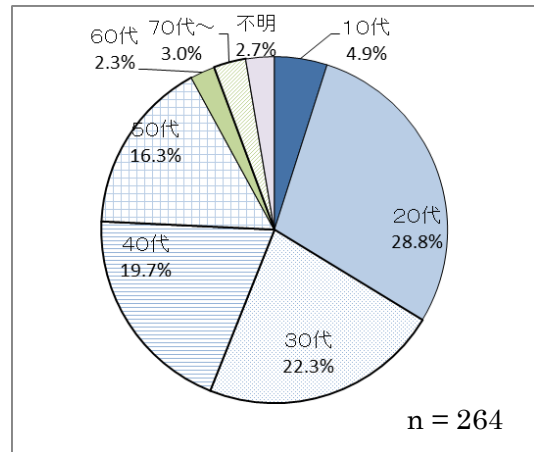


図2 年代別利用割合

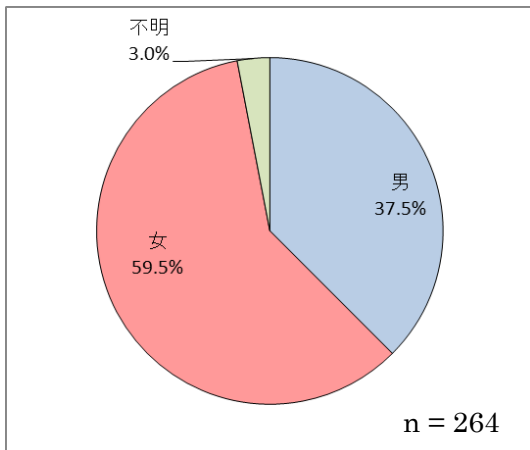


図3 性別別利用割合

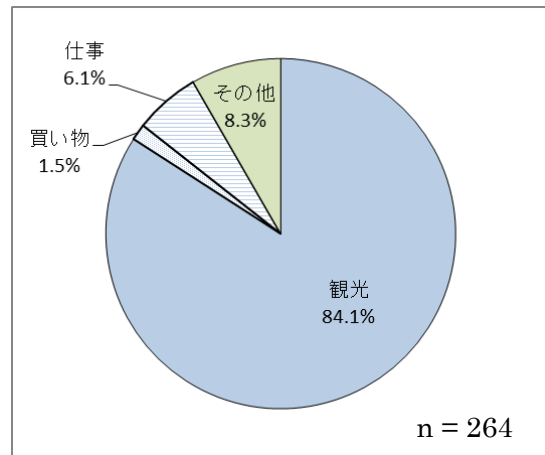
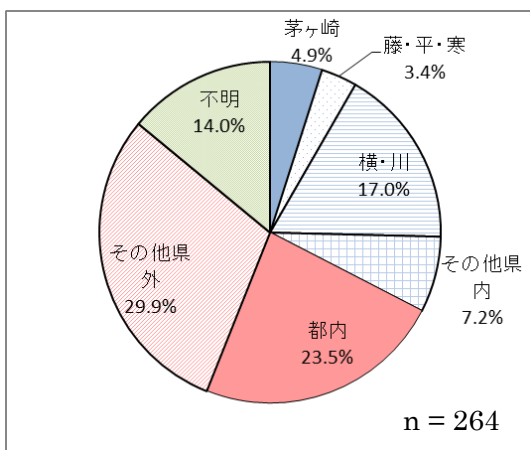


図4 来訪目的



【その他県外】
 北海道、青森県、新潟県、富山県、山梨県、愛知県、京都府、大阪府、兵庫県、宮崎県、鹿児島県 など

図5 居住地

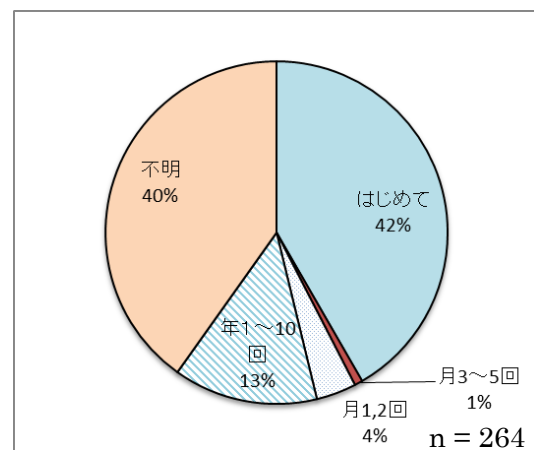


図6 茅ヶ崎への来訪頻度

表2 8月の曇・晴日の利用率

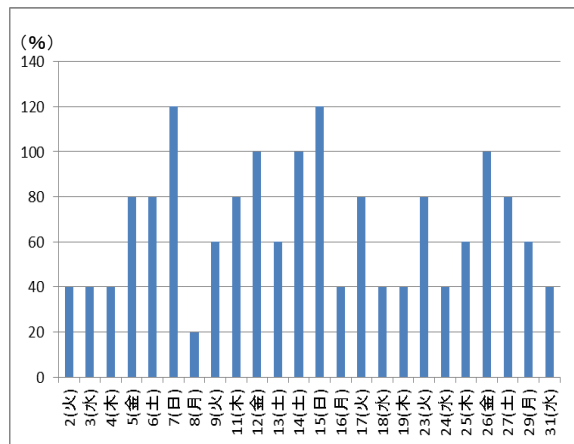
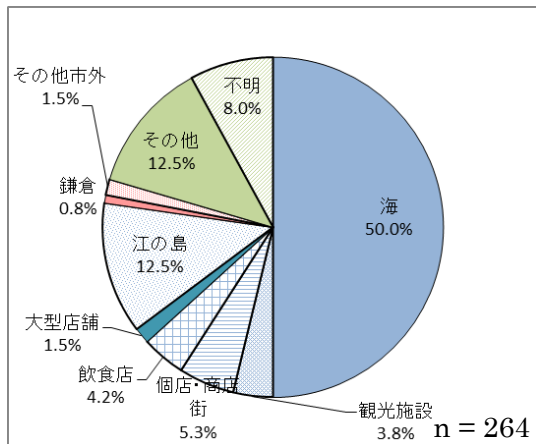


図7 目的地

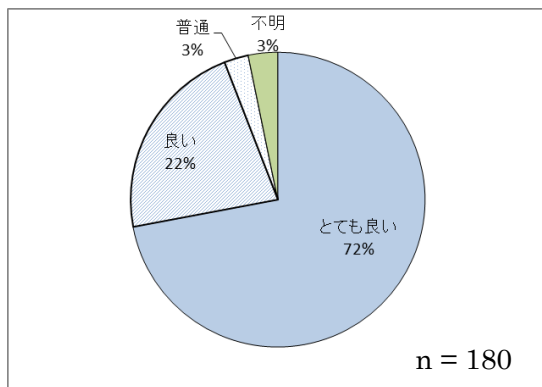


図8 感想

(3) その他

① 需要促進及び波及効果

- a) 茅ヶ崎市観光協会が「ことりっぷ茅ヶ崎」を発行
- b) メディアへの露出によるイメージアップ
- c) 利用者の行動範囲の拡大

② 課題

- a) 予約制の導入及び台数増加の必要性（グループで来て借りたい など）
- b) 移動先での乗り捨てるのニーズが高いが、対応できていない（江の島 など）

3 これからの取り組み

(1) 貸出情報の一元化にむけた取り組み

「いま借りられる自転車が、どこに、何台あるのか」を web 上で確認できるシステムの導入を目指し、茅ヶ崎市商店会連合会、茅ヶ崎市観光協会、市、関係者が協働で取り組みます。各々の主体が、独自にレンタサイクルを運営しますが、利用者からは一体的に見える利便性の高いシステムの構築を行います。

(2) 自転車観光回遊コースの作成

レンタサイクルとともに、「茅ヶ崎での自転車の楽しみ方」を提供するため、自転車観光回遊コースをつくります。

(3) 事業のコンセプト設定

回遊コースづくりや茅ヶ崎のレンタサイクルのPRを戦略的に進めるため、ブランドコンセプトを設定し、目的達成までのシナリオを検討します。

(4) レンタサイクル貸出場所拡大に向けた検討

ニーズをくみ取りながら、レンタサイクル貸出場所拡大及び予約制導入にむけた検討を行います。